

<総合戦略進行管理表の見方>

資料 3-4

令和7年度第1回逗子市総合計画審議会

2025年（令和7年）7月17日

基本目標1 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

進捗状況評価

達成できなかった

総合戦略

指標

合計特殊出生率が1.53になっている。

2019年度

2020年度

2021年度

2022年度

2023年度

2024年度

【進捗状況評価】について
次の2段階で評価しています。

1.41

1.23

1.46(1.47)

1.35(1.49)

未公表(1.51)

未公表(1.5)

1.53

基本的方向

- 若い世代が結婚・妊娠・出産・育児をしやすい環境づくりを進める。
- 子どもたちが学びやすい環境整備をさらに進め、子どもたちの生きる力をより
- 男女が共に働きながら子育てしやすい環境を整えるなど、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みを進める。

達成できた

達成できなかった

基本目標2 逗子市への新しいひとの流れをつくる

進捗状況評価

達成できなかった

指標

5年間の転入超過数が累計で1,000人になっている。

2019年度

2020年度

2021年度

2022年度

2023年度

2024年度

目標

315人

458人

633人

598人

628人(830人)

569人(1,000人)

1,000人

*累計1,009人

基本的方向

- 逗子市での居住を潜在的に希望している層を、逗子市への移住に確実に結びつける。逗子市への定住を促進する。
- 「また訪れたい」「いつか訪れたい」から「住みたい」という気持ちに

【指標の実績】について

・当該年度における想定目標を、() に
表記しています。

基本目標3 逗子市に暮らしながら「しごと」の希望をかなえる

進捗状況評価

達成できなかった

指標

個人市民税納税義務者数が28,900人になっている。

2019年度

2020年度

2021年度

2022年度

2023年度

2024年度

目標

28,165人

28,276人

28,263人

28,726人

28,926人(28,765人)

27,504人(28,900人)

28,900人

基本的方向

- 東京・横浜への通勤圏に位置する住宅都市として発展してきた逗子市の性格を踏まえ、逗子市に暮らしながら快適に「しごと」が行えるよう環境整備を進める。
- 商工業や漁業など逗子市の地域産業の活性化を図る。
- ダイバーシティ（多様性）を受け入れながら、若者、女性、高齢者、障がいのある人などあらゆる立場の人が活躍できるよう、就労支援や新たな「しごと」の場などの創出を目指す。